

目指す学校像	○学ぶことの楽しさや喜びを味わうことができる学校 ○安全・安心で、潤いのある教育環境が整った学校	○保護者・地域から信頼される学校
重点目標	1 さいたま市教育行政に係る子どもの学び方と教職員の教え方の改革を推進する。 2 安全・安心な学校生活に向けた取組を実施する。 3 開かれた学校づくりの推進及び家庭並びに地域との協働体制を確立する。 4 教職員の協力体制の確立と指導力の向上を図る。	

※重点目標は4つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目は複数設定可。
 ※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

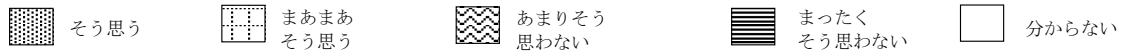
達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

年度		学 校 自 己 評 価			年 度 評 価		学校運営協議会による評価	
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	
1	<ul style="list-style-type: none"> R5 全国学力調査(6年)の結果、国語の正答率は全国平均を上回ったが市平均には届かず、算数ではいずれも上回った。R5市学習調査(3~6年)の結果はすべての教科で市平均を大きく上回った。以上のことから、児童の基礎学力の高い定着率が継続されていることが分かった。(現状) R5市学習調査の生活調査から、「主体的対話的で深い学び」についても、多くの学年で肯定的回答が市の平均値を上回っていることから、進んで課題に取り組む、考えを深めたり広げたりすることができていることが分かった。(現状) 児童が自ら課題を発見し、学習方法や発表方法を考え出したり選んだりする個別最適な学びへの取組については、協働的な学びと一体的に推進する指導の確立に努める必要がある。(課題) 	<ul style="list-style-type: none"> 個別最適な学びと協働的な学びの一体的推進 さいたま市スマートプロジェクト(SSSP)の推進 	<ul style="list-style-type: none"> さいたま市『アクティブラーニング』型授業、学びのポイント『じ・し・ゃ・く』の視点を踏まえた授業実践 児童自らによる、学習のめあてや学習方法、発表方法についての、自己選択、自己決定、自己評価の拡充 全教育活動における、学習用タブレットにある教材・アプリ(Teams、ミラインド、スクイッシュボード(SDB)の活用による、学習の理解度・達成、対話・協働、主体性などについての児童の振り返り活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 児童の学校評価「授業が楽しい」への肯定的回答を95%以上。(R5:91%) 児童の学校評価「授業がわかる」への肯定的回答を98%以上。(R5:95%) 児童アンケート「自分で選ぶ、決める、振り返る」への肯定的回答80%以上(新規調査) 保護者の学校評価「タブレット等ICTで授業を工夫」への肯定的回答97%以上。(R5:90.6%) 教員によるICT利活用の日常化自己評価の肯定的回答を80%以上。(新規評価) 教員によるSDB利活用の肯定的回答を80%以上。(新規評価) 	<ul style="list-style-type: none"> 「授業が楽しい」の肯定的回答は91.8%で目標の9割以上を達成。 「授業がわかる」の肯定的回答は96.9%で目標の9割以上を達成。 「自分で選び決め振り返る」の肯定的回答は「進んで学習」の発問に読換え、肯定的回答91.4%となった。 「ICTで授業を工夫」の肯定的回答は96.8%で、目標値に肉薄。 「ICT利活用の日常化」の肯定的回答は100%で、肯定するA回答が+14.8Pとなり、特にCanvaの活用が進んだ。 SDBは児童の心の状態把握の手段として「おはようメーカー」の活用を中心に進め、100%実施した。児童理解に活用できた。 	A	課題：自律的な学び(自ら考え、決め、行う)の継続的実践で、学びのスタイルを身に付けられるようにする。 方策：教員が授業において、学びのポイント「じ・し・ゃ・く」の活用頻度を向上させる。子どもはタブレット上に積み上げた学習履歴を再利用していく。	・学びのポイント『じ・し・ゃ・く』について、説明を開き、どのような授業なのかがよく分かった。今後、授業参観や学校公開等で、その様子を見ることができていることを期待している。 ・ICTの活用については、子どもをとおして日々活用している話は聞いているが、活用している授業の様子について、もっと積極的に保護者や地域に発信したほうがよい。
2	<ul style="list-style-type: none"> R5安全・安心に関する学校評価の肯定的回答は<保護者>「友達と仲よく生活している」94.2%、「学校が好きで喜んで通っている」94.6%<子ども>「八幡小が好き」94.3%、「みんなと仲よくしている」94.9%であり、大多数が安心して通学している(現状) 子どもたちを取り巻く悩みごと、困りごとへの対応は、個人面談や教育相談、児童個別の指導や聞き取りなどにより、速やかに、丁寧に、組織的に対応を図っている。(現状) 創立50年による施設・設備の老朽化が顕在化している。校舎のあちらこちらに雨漏り、壁材の剥がれや腐食が目立ってきている。市教委との連携による補修等が急務である。(課題) 	<ul style="list-style-type: none"> 子ども主体のいじめ防止対策の推進 一人ひとりの教育的ニーズに応じた支援体制の確立 安全な施設・設備の整備・確保 	<ul style="list-style-type: none"> 「いじめ防止」に関し、各学級の道徳授業、校長講話、学校だより、学校運営協議会、校内人権教育研修等を通じた「いじめ防止教育」の実施 「さいたま市ストップいじめ！子どもサミット」への児童会児童による意図的・計画的・積極的参加 「Solaルーム」の開設による、個別学習が可能とした子ども居場所の確保 「おはようメーカー」活用による児童の健康チェックと教員、保護者の連携 市教委への報告、連絡、相談、見取りによる施設・設備の補修要望 	<ul style="list-style-type: none"> 年間指導計画に基づく道徳指導の確実な実施と適切な評価 いじめ防止に関する校長講話(6月) いじめ防止について学校だより6月号へ掲載 学校運営協議会実施(6月) 子どもサミットへの参加(8月) Solaルームの開設と保護者通知、おはようメーカーの児童運用開始(5月) 心と生活アンケートの実施と面談(4月、9月、1月) 学校HPのブログ配信開始(7月) 緊急性の高いものについて、確実な修繕や補修の実現 	<ul style="list-style-type: none"> 道徳授業の100%実施と通知票への評価所見を行い、いじめ根絶に努めた。 子どもサミットへ参加し「よいことBox」や挨拶運動の取組を紹介することができた。 いじめに関する本校の実態を学校運営協議会委員に報告し、適切に対応してきたことへの理解を図った。 Solaルームの開設、おはようメーカーの運用、心と生活アンケート実施を計画通り進めた。 学校HPのブログを7月から配信し、1月まで53本の記事を掲載することができた。 雨漏り、外壁落下、漏水、地面陥没、教室カーテンなど、事案の発生ごとに整備を適切に実施し、迅速に対応した。 	A	課題：学習調査・質問紙調査の「いじめはいけないこと」に否定的回答があったり、生活アンケートでいじめ被害を訴えたりし、僅かな数だが根絶できていない。 方策：児童会が主体となるいじめ防止のための取組を一層推進していく。	・いじめの他、何気ない相談について、教師に直接話しかけづらい子もいるだろうと考える。WEBを用いたアンケート等を活用して、『お悩み相談室』的なことを展開することはできないか。 ・Solaの一むについて、児童にどのように周知しているのか。あまり大々的に宣伝をしないと、かえって使用しづらい児童もいるかもしれない。難しいところである。また、掲示物についてより安全で、居心地のよい環境となるよう運営していく。
3	<ul style="list-style-type: none"> R5年度は年間に授業参観3回、学級懇談会2回、学校公開日1回、学校運営協議会3回、教育相談日を隔月に開催した。行事では運動会、音楽会、引渡し訓練、SSN感謝の会を実施し、学校を開く活動を展開した。(現状) R5年度の保護者学校評価「学校公開日や授業参観、学校行事等が適切に行われている」の肯定的回答が98.8%で、過去3年間で最高値をいただいた。(現状) 学校ホームページ更新作業の担当職員を配置し、ブログ(児童の活動の様子・活躍)やお願い事、行事予定等をきめ細やかに配信していく必要がある。(課題) 開校50周年を契機に、様々な行事や事業を記念活動として、児童・保護者・地域・職員が一丸となって取り組んでいく。(課題) 	<ul style="list-style-type: none"> 開かれた学校、コミュニティ・スクールの一層の推進 児童理解、学校理解を図るための情報発信 	<ul style="list-style-type: none"> 開校50周年事業として、記念式典、航空写真撮影、映画会、ペットボトルキャップアート、記念誌作成など、実行委員会、PTA、学校運営協議会と密接に連携し事業を企画・展開する。 1年生入学のお祝い、薔薇の植栽等、浦和レッズとコラボ事業を展開する。 既存の校内組織と人材を活用し、学校HP担当を明確化し、学年教員との連携を一層充実させ、HP内のブログを活性化させる。 学校だより、学年だより、給食だよりなど、保護者、地域、学校関係者に、行事予定やお知らせ、お願いなど幅広く周知していく。 	<ul style="list-style-type: none"> 開校50周年記念の各種事業を計画的に円滑に遂行し、児童、保護者、地域、学校関係者が満足感、達成感をもって楽しめるよう運営していく。 学校だより、学校HP、PTAだより等を通じ、50周年事業アンケートで肯定的回答80%以上を得る。 学校評価「学校公開日や授業参観、学校行事等が適切に行われている」への「そう思う」(完全肯定回答)70%(R5年度57.3%)以上。 学校HP内のブログ更新にかかる学校評価への肯定的回答80%以上。(新規評価) 	<ul style="list-style-type: none"> 記念式典・祝賀会、航空写真撮影、バルーンリリース、ペットボトルアート、タイムカプセル開封式、映画観賞会、和楽器演奏鑑賞会等、各事業を滞りなく実施することができた。 「学校は保護者や地域の願いに応えようとしている」に読替え、肯定的回答は97.8%となり、期待に応えることができた。 「適切に行われている」への「そう思う」(完全肯定回答)は57.9%で目標値に届かなかったが、昨年度並みの回答を得ることができた。 各種お便りに加え、児童の生活・活動の様子(ブログ)を随時掲載したことで閲覧者が増え、1月末時点で6516件のアクセスを記録した。 	A	課題：周年のお祝いムードを絶やさず、コミュニティ・スクールとして、地域、保護者、学校が、自分事として課題を捉え、取組を進める意識を醸成すること。 方策：学校運営協議会において、地域、PTA、学校が、組織的、計画的、具体的に取組みを熟議していく。	・周年行事のバルーンリリースはとても感動的であった。そちらを参考に、1月に、中学校の周年行事でも実施させていただいた。 ・周年行事で実施したあいさつキャンペーンはとてもよかった。児童の挨拶の現状もよく分かった。これからはあいさつができる子をもっと育てていかなければならないと感じた。 ・学校HPのブログについては、行事等のイベントのみではなく、普段の授業の様子などもアップしてほしい。
4	<ul style="list-style-type: none"> R5年度学校評価において、「学校」が主語になっている設問の肯定的回答はいずれも90%を超えている。教科指導以外(子どものよさや可能性への支援、児童理解、個に応じた指導、子どもの悩みやトラブルへの対応、交通安全指導、防災指導、健康指導など)においても、高い評価をいただいている。(現状) R5年度市学力・学習調査の生活調査における質問「先生はあなたのよいところを認めてくれますか」に対し、肯定的回答は94.4%であり、市の平均を上回っている。教職員が一致して、子どもたちの思い、行い、頑張りを認め、支えている様子が伺える。一方、6%弱の児童が否定的に感じていることは課題と捉えていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 教職員の徹底した組織的対応 児童への丁寧で寄り添う生徒指導 	<ul style="list-style-type: none"> 教職員によって指導方針、指導内容、対応の態様に差異が生じないよう、指導や活動の計画について共通理解を確実に図っていく。 組織内のQJT機能を働かせ、キャリアの違う職員とのよさが相互に生きるよう管理職が助言・支援していく。 子どもたちがトラブルを抱えたとき、「子どもがここで一皮剥けるチャンス」という展望を職員がもち接する。 自分がどう対応すべきか、どうしたいかを主体的に考えさせる。 担当組織で会議を開き、多くの目でも対応策を練り、迅速に対応する。 	<ul style="list-style-type: none"> 年間計画上の会議の円滑な実施。 組織内における担当別目線からの多様な対応法の検討 学校評価(教職員)「子どものよさや可能性を伸ばそうとしている」完全肯定回答70%以上。(R5年度60.0%) 学校評価(保護者)「一人ひとりの児童を理解し、個に応じた指導を行っている」完全肯定回答50%以上。(R5年度31.6%) 学校評価(保護者)「子どものよさや可能性を伸ばそうとしている」完全肯定回答50%以上。(R5年度38.3%) 	<ul style="list-style-type: none"> 教職員の評価「子どものよさや可能性を伸ばそうとしている」に対する「そう思う」(完全肯定回答)は72.4%で目標を達成。 計画された会議の8割は予定時間以内に終了し、無駄なく円滑に、共通理解をもって実施できている。 「一人ひとりの児童理解、個に応じた指導」への「そう思う」は、29.2%で昨年度を下回り、目標値も大きく下回った。 「子どものよさや可能性」へは39.1%で昨年度より微増だが、目標達成には至らなかった。「まあまあ思う」までの肯定的回答であれば9割前後まで達している。 	A	方策：学校の教育活動はすべて子どもたちの健全な育成に向けられ、教職員もあらゆる分野で協働し、部署のリーダーが要となって活動を推進している。今後各課題に対し、早期発見、早期対応、組織的対応に努め、子どもの可能性を伸ばしていく。	・現在、LINEによるトラブルが児童の中でよく起きている。その防止に向けて、保護者、教員と協力して、何か取組はできないか。 ・中学校でもLINEトラブルが後を絶たない。小・中が連携したスマホトラブル防止について、組織立った取組を行いたい。 ・個に応じた対応は難しいことは分かるが、タブレット学習のみに頼るのではなく、学習へのコメントや丸つけ等、きめ細やかな対応をしていただけるとありがたい。

令和6年度 学校評価結果について

本年度の「学校評価」の結果の概要をお知らせします。今回の評価結果を踏まえ、一層の指導の充実を図り、課題については引き続き改善に努めてまいります。

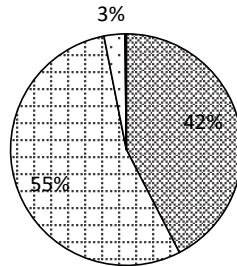
◇評価者	保護者・地域(学校評議員)	教職員	◇実施時期	令和6年12月
◇回収数	保護者・地域 395名	教職員 29名	※右のグラフは、左の複数ある評価項目を合算して表したも	



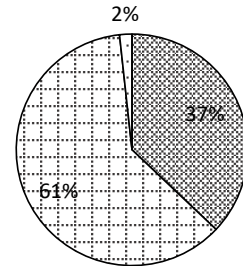
I 経営方針・重点目標について

評価項目
与野八幡小学校の子どもたちは、目標の実現を目指し、意欲をもって学習に取り組む子どもに育っている。
与野八幡小学校の子どもたちは、やさしさと思いやりのある親切的な子どもに育っている。
与野八幡小学校の子どもたちは、健康安全に気をつけ、体力づくりに励む子どもに育っている。
与野八幡小学校の子どもたちは、あいさつや返事をしっかりとし、友だちとのかかわりあいを大切にする子どもに育っている。

<保護者・地域>



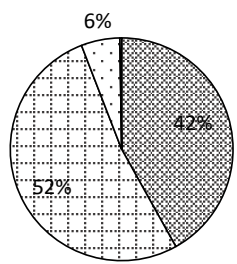
<教職員>



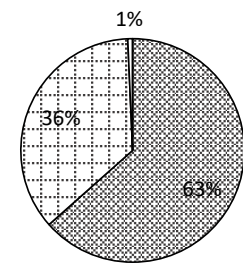
II 教育活動・授業について

評価項目
学校では、子どもがわかりやすいように工夫して指導を行っている。
学校では、子どものよさや可能性を伸ばそうとしている。
学校では、自然や本などと触れ合う場や機会を位置づけ、教育活動を工夫している。
学校では、タブレット等のICT機器を使った授業を工夫している。
学校では、一人ひとりの児童の理解の程度に応じた指導形態の工夫による、きめ細かな指導を行っている。

<保護者・地域>



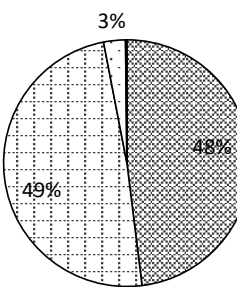
<教職員>



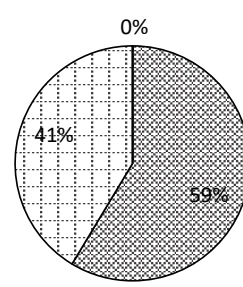
III 生徒指導・教育相談について

評価項目
子どもは、友だちがいやがることはしないで、仲良く生活している。
子どもは、与野八幡小が好きであり、喜んで登校している。
学校では、子どもの悩みやトラブル等について、適切に対応している。
保護者からの相談や要望に対して、教職員は誠実に対応している。
学校では、児童に交通安全についての指導をしている。
学校では、児童に防災・防犯についての指導をしている。
学校では、児童に健康や安全に対する意識を高める指導をしている。
学校では、児童にけがの防止など安全について指導をしている。
学校では、児童に給食の指導をしている。

<保護者・地域>



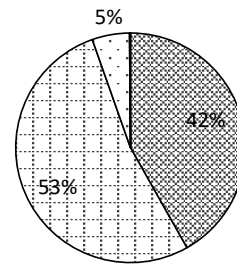
<教職員>



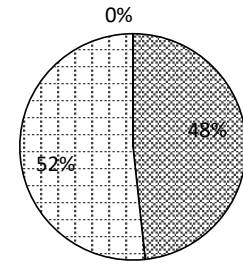
IV 施設・設備について

評価項目
学校では、児童の事故防止に努め、施設・設備の安全に配慮している。
学校では、教室や特別教室の整理整頓がなされ、活用されている。

<保護者・地域>



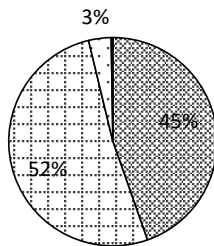
<教職員>



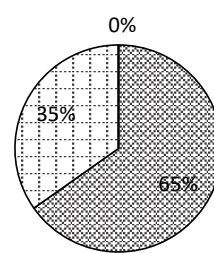
V 家庭・地域との連携について

評価項目
学校では、家庭への連絡をきめ細かく行っている。
保護者や地域の方々に学校をよく知っていただくために、学校公開日や授業参観、学校行事等が適切に行われている。
保護者や地域は、学校教育に積極的に関わろうとしている。(スクールサポート ネットワーク、授業参観・懇談会、PTA活動他)
学校は、保護者や地域の願いに応えようとしている。

<保護者・地域>



<教職員>

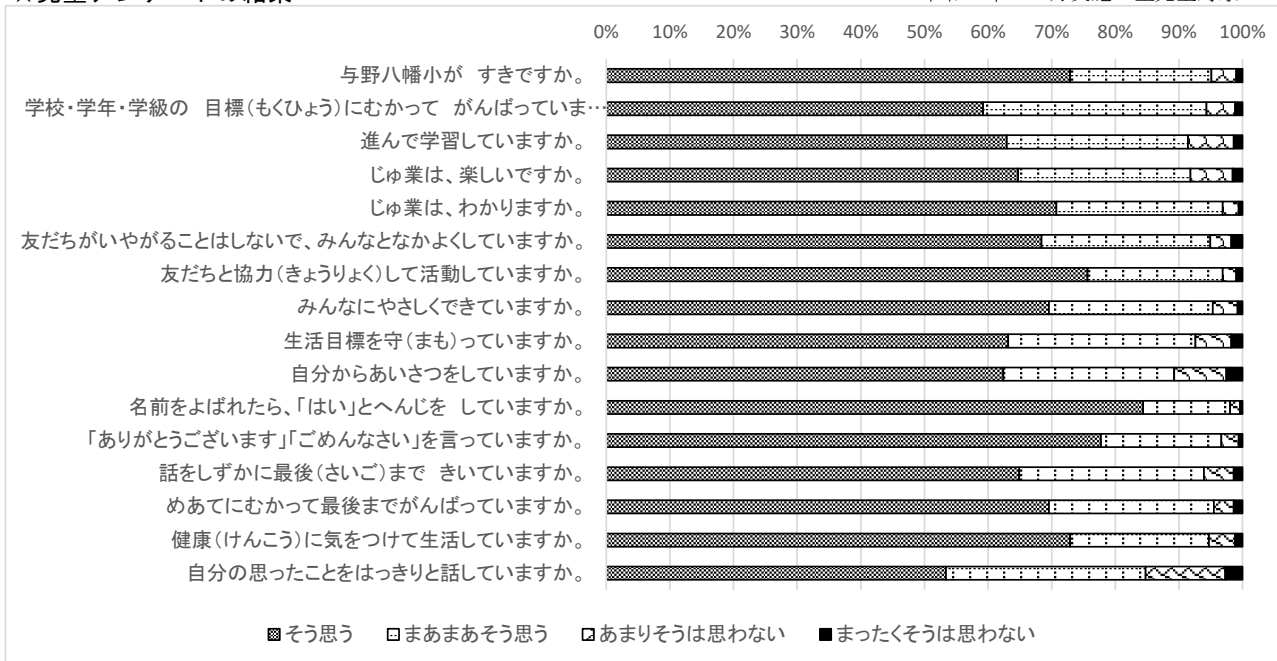


☆皆様から貴重なご意見等も多数いただきました。(抜粋)

- ・学校を訪れると、先生、生徒の皆さんよく挨拶をしてくださる明るい雰囲気だと思います。
- ・学校が大好きで、毎日行くのをとても楽しみにしています。そのような環境を作ってください、とても感謝しています。
- ・なぜそういうことをしたのか、次からどうするべきなのか、しっかり子どもの意見を聞いて指導していただけて助かります。
- ・娘が友人関係の悩みを担任の先生に相談していました。先生に聞いてもらって心が軽くなったようです。
- ・タブレットPCで課題を提出する等、もうこの年でやるんだなあと感心した。
- ・月曜チャレンジでは、世代が上の皆さんが毎回アイデアを凝らして準備し、温かく見守ってくださることがありがたいです。
- ・50周年記念行事では、PTA、有志の皆さんが子どもたちのためにアイデアを次々と実行していただき、楽しそうでした。
- ・あいさつキャンペーンは大変良かったと思います。卒業生や中学の先生、地域の方々があいさつし合い子供達を見守る事が出来て今後もそのような機会があるといいと思います。
- ・通学班の子たちや家の前を通る子たちに挨拶をしても返ってこないことが多い。
- ・朝登校班について行くと、交通整理をしてくださる方が挨拶をしてくださっても返している子が少ないように感じました。
- ・学校全体に老朽化を感じる箇所が多数あります。

☆児童アンケートの結果

令和5年12月実施 全児童対象



学校評価を踏まえた改善策について

- 児童会主体のあいさつ運動等を今後も継続していくとともに、50周年記念行事として行った、学校・地域・家庭の3者で協働して行う「あいさつキャンペーン」を継続して実施していく。
- 自己表現力に「自信がない」児童が、増加傾向にあることを踏まえ、学校全体研修「個別最適な学び」をとおして、児童の自己表現力を高めていくと共に、各行事で活躍できる児童を増やし、達成感や成就感を味わう教育活動を展開していく。
- 昨年度に引き続き、保護者が児童が頑張っている様子を参観できるような行事等を、近隣の中学校とも連絡を取り合いながら調整を行い、計画、実施すると共に、学校HPや連絡アプリをとおして保護者や地域に発信していく。
- 今後もタブレット端末を積極的に活用していくとともに、ICT機器の整備や管理方法の工夫・改善を進めていく。